

単元まるごと計画「わたしの一日」 ^{にち}（全5時間）

単元のゴール（can-do）：日課を表すまとまった英語を聞いておおよその内容がわかる楽しさを味わい、自分の一日をかんたんな英語と動きで表現することに慣れ親しむ。

評価規準 3観点（国研参考資料の文型で作成）

知識・技能	日課を表す表現（I wake up. など）に慣れ親しんでいる。
思考・判断・表現	自分の生活をふり返って、一日の流れをカードやジェスチャーで表現しながら伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	友だちの一日と自分の一日をくらべながら、すすんで聞いたり伝えたりしようとしている。

◎＝記録に残す評価（方法つき）。◎のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全5時間

時	紙面	主な活動	帯（毎時間のはじめ）	評価
1	－	日課のことばと出会う（カード）・一日チャンツでまねっこ	歌（This is my day）	記録なし
2	－	まとまった話を聞く（先生の日）・聞こえた順に指さし	一日チャンツ	記録なし
3	－	マイ・タイムライン（自分の一日の順にカードをならべる）	一日チャンツ	記録なし
4	－	タイムライン・トーク（ペアで一日を紹介し合う）	一日チャンツ	◎ 行動観察（見取りメモ）
5	－	「わたしの一日」ミニ発表会＋1年のふりかえり	歌	◎ 振り返りカード点検



45分の基本形と運用メロ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・歌・チャンツ	—（Let's Try!付属音源）
5-12	にっかカードで練習	わたしの一日カード
12-15	めあての確認	—
15-37	主活動（シート1〜3）	活動シート1〜3
37-45	振り返り・あいさつ	ふりかえりカード

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

- 1. 日課の表現は6つでよい（8枚全部を全員に求めない）
- 2. ミニ発表は班内発表だけでもよい（全体は代表数名）
- 3. 「先生の一日」の聞かせは2回まで（3回聞かせるより、2回目で指さしをさせる）

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ わたしの一日カード（提示用1部＋タイムライン用に人数分があると理想。なければ班に1セット）
- ☐ 活動シート1〜3（各時間、人数分）
- ☐ ふりかえりカード（1人1枚・単元を通して同じ紙）
- ☐ ALT打ち合わせシート（ALT来校日に）

配慮が必要な子へ

- ・生活時間・生活習慣は家庭差が大きい。「正しい一日」を作らない（ふとんの子もベッドの子も、朝ごはんがパンの子もごはんの子も、全部そのままでもよいと最初に言う）
- ・順番の記憶が難しい子には、カードを「朝・昼・夜」の3グループに分けてから並べる足場を
- ・発表が苦手な子は、タイムラインを見せながらカードを指さすだけでも「伝えた」ことにする

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・I put away my futon. は4年の英語でいちばん笑いが起きる文。「ふとんは英語になっちゃった日本語（futon）」の話は、ことばが文化ごと旅する実例（sushi / manga と同じ仲間）
- ・まとまった話（先生の一日）は「全部わからなくていい。聞こえたカードをタッチできればOK」の構えて聞かせる——聞く力の評価はタッチで見える
- ・この単元は5年 Unit 2（My Daily Schedule・時刻つき日課）への直通の橋。「5年生になったら時刻もつけて言えるようになるよ」の予告が学びの連続性をつくる
- ・◎見取りは第4時「一日の流れを伝えようとしているか」。カードの順が生活の実態と違ってても訂正しない（本人の一日が正）